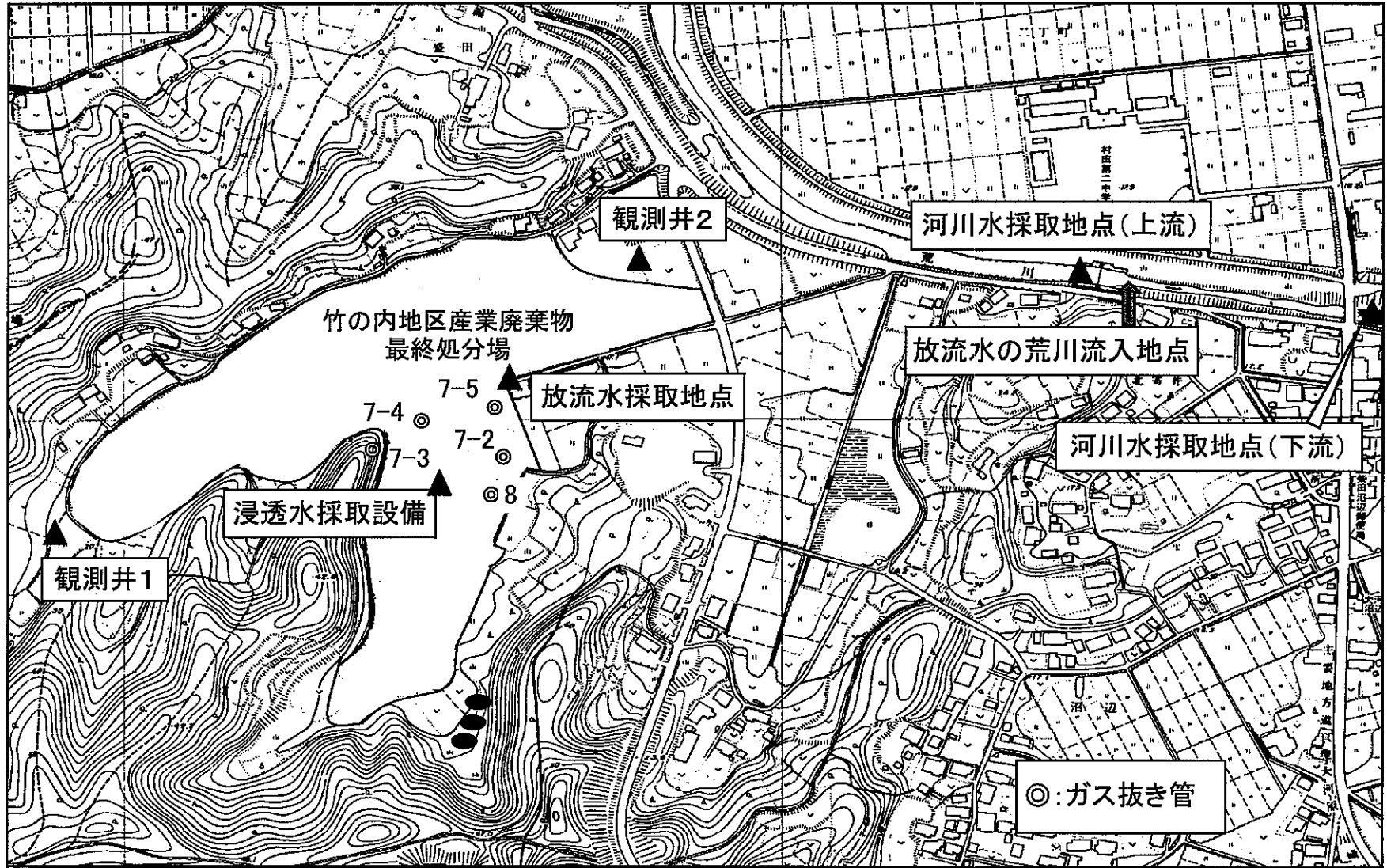


水質等調査結果について

- ・竹の内地区産業廃棄物最終処分場水質等試料採取位置図
- ・ガス抜き管内水質等調査結果（8月分）
- ・ 同 上 （9月分）
- ・最終処分場浸透水及び周辺地下水水質等調査結果（9月分）
- ・最終処分場における水質中のダイオキシン類測定結果（7月分）

竹の内地区産業廃棄物最終処分場水質等試料採取位置図



ガス抜き管内水質等調査結果（8月）

調査地点		第7工区-2 ガス抜き管	第7工区-3 ガス抜き管	第7工区-4 ガス抜き管	第8工区 ガス抜き管	
調査年月日		H.16/8/26	H.16/8/26	H.16/8/26	H.16/8/26	
水位（GL下）	m	- 2.6	- 3.6	- 3.3	- 2.4	
気温	℃	23.8	23.9	23.9	23.9	
透視度		>50	44	>50	20	
孔内温度（管口1m下）	℃	28.1	26.8	26.7	28.6	
水温	℃	30.4	32.8	25.8	34.4	
pH		7.1	7.3	7.0	7.4	
電気伝導度	ms/m	300	480	250	900	
酸化還元電位	mV	20	120	100	86	
硫酸イオン	mg/L	0.5	0.3	0.7	0.6	
塩化物イオン	mg/L	100	510	580	1300	
BOD	mg/L	4.5	13	3.1	69	
COD	mg/L	78	170	69	710	
COD（ろ過後）	mg/L	75	160	67	730	
TOC	mg/L	79	150	72	550	
TOC（ろ過後）	mg/L	76	140	67	550	
SS	mg/L	4	6	24	<1	
発生ガス	硫化水素	ppm	55	28	5	60
	二酸化炭素	%	13	10	5	23
	酸素	%	<6	10	16	6
	メタン	%	47	20	17	23
	発生量	L/m	0.3	0.1	0.9	3.1
備考						

第7工区-5 ガス抜き管 硫化水素濃度：0.2ppm 未満

(注) ろ過前後の COD,TOC については、第2回村田町竹の内地区産業廃棄物最終処分場総合対策検討委員会専門部会の意見を受け追加

ガス抜き管内水質等調査結果（9月）

調査地点		第7工区-2 ガス抜き管	第7工区-3 ガス抜き管	第7工区-4 ガス抜き管	第8工区 ガス抜き管	
調査年月日		H.16/9/16	H.16/9/16	H.16/9/16	H.16/9/16	
水位（GL下）	m	- 2.8	- 3.7	- 3.8	- 2.5	
気温	℃	24.1	24.1	23.2	22.2	
透視度		>50	35	50	—	
孔内温度（管口1m下）	℃	25.0	27.1	26.1	28.5	
水温	℃	31.4	33.6	26.2	35.6	
pH		7.1	7.3	7.1	7.5	
電気伝導度	ms/m	330	510	270	970	
酸化還元電位	mV	35	130	110	120	
硫酸イオン	mg/L	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	
塩化物イオン	mg/L	160	320	170	1300	
BOD	mg/L	13	25	3.7	130	
COD	mg/L	91	180	76	790	
COD（ろ過後）	mg/L	88	170	72	790	
TOC	mg/L	76	130	59	560	
TOC（ろ過後）	mg/L	72	130	56	550	
SS	mg/L	4	7	31	<1	
発生ガス	硫化水素	ppm	70	18	5	60
	二酸化炭素	%	10	12	6	23
	酸素	%	<6	18	17	8
	メタン	%	36	18	23	24
	発生量	L/m	0.6	0.5	0.8	2.2
備考						

第7工区-5 ガス抜き管 硫化水素濃度：0.2ppm 未満

（注）ろ過前後のCOD,TOCについては、第2回村田町竹の内地区産業廃棄物最終処分場総合対策検討委員会専門部会の意見を受け追加

最終処分場浸透水及び周辺地下水水質調査

立入検査年月日 採取場所 採取水種	平成16年 9月 8日 浸透水採取設備 浸透水	平成16年 9月 8日 観測井1 (上流)地下水	平成16年 9月 8日 観測井2 (下流)地下水	地下水等検査 項目に係る 基準値
水温 ℃	39.1	18.5	20.0	—
透視度	36	50以上	50以上	—
pH	7.9	8.0	7.8	—
生物化学的酸素要求量(BOD) mg/L	7.9	0.6	2.5	20
カドミウム及びその化合物 mg/L	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01以下
シアン化合物 mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず
有機リン化合物 mg/L				
鉛及びその化合物 mg/L	0.006	0.001未満	0.002	0.01以下
六価クロム化合物 mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.05以下
ひ素及びその化合物 mg/L	0.006	0.001未満	0.001未満	0.01以下
総水銀化合物 mg/L	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.0005以下
アルキル水銀化合物 mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず
PCB mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず
トリクロロエチレン mg/L	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.03以下
テトラクロロエチレン mg/L	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01以下
ジクロロメタン mg/L	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.02以下
四塩化炭素 mg/L	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.002以下
1,2-ジクロロエタン mg/L	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン mg/L	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.02以下
シス1,2-ジクロロエチレン mg/L	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン mg/L	0.1未満	0.1未満	0.1未満	1以下
1,1,2-トリクロロエタン mg/L	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.006以下
1,3-ジクロロプロペン mg/L	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.002以下
チウラム mg/L	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.006以下
シマジン(CAT) mg/L	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.003以下
チオベンカルブ mg/L	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.02以下
ベンゼン mg/L	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01以下
セレン mg/L	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01以下
<hr/>				
(参考)				
SS	1.8	0.1	34	
電気伝導度 ms/m	410	48	75	
酸化還元電位 mV	260	290	260	
硫酸イオン mg/L	9.4	28	0.2未満	
塩化物イオン mg/L	430	78	9.1	
化学的酸素要求量(COD) mg/L	190	1.4	9.3	
ろ過後化学的酸素要求量(COD) mg/L	190	1.5	8.1	
総有機炭素量(TOC) mg/L	140	0.5未満	7.8	
ろ過後総有機炭素量(TOC) mg/L	130	0.5未満	7.6	

最終処分場放流水及び河川水水質調査

立入検査年月日 採取場所 採水種別	平成16年 9月 8日 放流水	平成16年 9月 8日 荒川（河川水） 上流	平成16年 9月 8日 荒川（河川水） 下流	放流水等検査 項目に係る 基準値
水温 ℃	31.7	23.5	21.9	—
透視度	—	50以上	50以上	—
pH	7.6	7.8	7.9	—
生物化学的酸素要求量 (BOD) mg/L	27	0.7	0.9	60以下
浮遊物質 mg/L	4.5	18	15	60以下
鉱物油 mg/L	0.5未満	0.5未満	0.5未満	5以下
動植物油脂類 mg/L	3未満	3未満	3未満	30以下
フェノール類 mg/L	0.5未満	0.5未満	0.5未満	5以下
銅 mg/L	0.3未満	0.3未満	0.3未満	3以下
亜鉛 mg/L	0.5未満	0.5未満	0.5未満	5以下
溶解性鉄 mg/L	1未満	1未満	1未満	10以下
溶解性マンガン mg/L	1未満	1未満	1未満	10以下
クロム mg/L	0.2未満	0.2未満	0.2未満	2以下
大腸菌群数 個/cm ³	—	—	—	3,000以下
カドミウム及びその化合物 mg/L	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01以下
シアン化合物 mg/L	0.1未満	0.1未満	0.1未満	1以下
有機リン化合物 mg/L	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.1以下
鉛及びその化合物 mg/L	0.1未満	0.1未満	0.1未満	1以下
六価クロム化合物 mg/L	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.5以下
ヒ素及びその化合物 mg/L	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.1以下
総水銀化合物 mg/L	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.005以下
アルキル水銀化合物 mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず
PCB mg/L	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.003未満
トリクロロエチレン mg/L	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.3以下
テトラクロロエチレン mg/L	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.1以下
ジクロロメタン mg/L	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.2以下
四塩化炭素 mg/L	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.02以下
1,2-ジクロロエタン mg/L	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.04以下
1,1-ジクロロエチレン mg/L	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.2以下
シス1,2-ジクロロエチレン mg/L	0.04未満	0.04未満	0.04未満	0.4以下
1,1,1-トリクロロエタン mg/L	0.3未満	0.3未満	0.3未満	3以下
1,1,2-トリクロロエタン mg/L	0.006未満	0.006未満	0.006未満	0.06以下
1,3-ジクロロプロペン mg/L	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.02以下
チウラム mg/L	0.006未満	0.006未満	0.006未満	0.06以下
シマジン (CAT) mg/L	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.03以下
チオベンカルブ mg/L	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.2以下
ベンゼン mg/L	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.1以下
セレン mg/L	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.1以下
ほう素及びその化合物 mg/L	3.7	1未満	1未満	10以下
ふっ素及びその化合物 mg/L	0.8未満	0.8未満	0.8未満	8以下
アンモニウム、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 mg/L	32	0.5	0.5	100以下
(参考)				
電気伝導度 ms/m	240	13	14	
酸化還元電位 mV	240	280	280	
硫酸イオン mg/L	31	16	15	
塩化物イオン mg/L	250	9.6	10	
化学的酸素要求量 (COD) mg/L	110	4.0	4.2	
ろ過後化学的酸素要求量 (COD) mg/L	110	1.8	2.8	
総有機炭素量 (TOC) mg/L	78	3.1	3.1	
ろ過後総有機炭素量 (TOC) mg/L	74	3.0	3.0	

村田町竹ノ内地区産業廃棄物最終処分場における水質中のダイオキシン類測定結果について

1 測定結果

採取試料	採取日	測定結果 (pg-TEQ/L)			基準値 (pg-TEQ/L)
		Total TEQ	内 訳		
			PCDD+PCDF	Co-PCB	
放流水	H16.7.29	0.13	0.032	0.10	10
地下水	H16.7.29	0.076	0.067	0.0091	1

注1) 放流水にあつては濃度が定量下限値未満のものを0とし、地下水については検出下限値未満のものを検出下限値の1/2の値を用いて各異性体のTEQを算出し、それらを合計してTotal TEQを算出した。

注2) ダイオキシン類の濃度の詳細については、別紙表参照。

2 検出下限及び定量下限

各ダイオキシン類詳細結果の表を参照

3 測定対象の異性体について

平成13年度環境対策課において作成した「ダイオキシン類測定データ管理システム」の入力フォーマットに基づき測定対象異性体を報告している。2,3,7,8置換異性体以外の化合物について由来とされる発生源名も明記し以下に示す。

- ・1,3,6,8-, 1,3,7,9-TeCDD (CNP, 燃焼), 1,2,3,8- TeCDD (殺菌剤: トリクロサン)
- ・1,2,3,6,8-PeCDD (CNP)
- ・2,4,6,8-TeCDF (CNP), 1,2,7,8-TeCDF (パルプ漂白)
- ・1,2,4,6,8-PeCDF (CNP, PCP)
- ・1,2,4,6,8,9-HxCDF (PCP)
- ・1,2,3,4,6,8,9-HpCDF (PCP)

4 考察

1) TEQ及び実測濃度の経年変化(図1, 2)

図1, 2に経年変化を示したが、TEQ、実測濃度とも冬季に高くなる傾向を示しており、今回は低レベルであった。

図1 TEQの経年変化

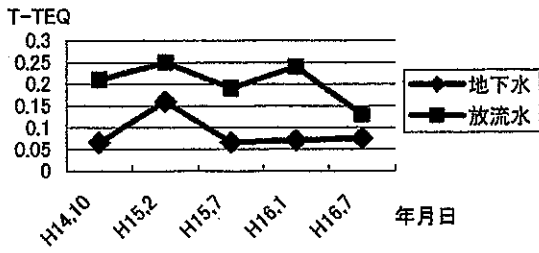
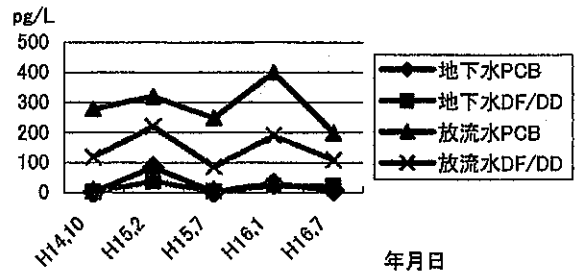


図2 実測濃度経年変化



2) 地下水実測濃度の経年変化 (図3, 4)

地下水については平成15年2月のデータを除いては似たパターンを示しており、DD/DFsは低塩素化PCDDsが高めの傾向を示しCo-PCBsについては#118、105等が高めの値を示した。

3) 放流水実測濃度の経年変化 (図4, 5)

本年度DD/DFsは例年と比較し、TeCDFs、PeCDFs等が若干高めの傾向を示した。異性体では1,3,6,8-TeCDF、1,3,4,6,8-PeCDF、1,3,4,7,8-PeCDFと推定されるものが特に高い濃度を示していたが、これらが何に由来しているかは不明である。Co-PCBsについてはほぼ例年と同じパターンを示していた。

図3 地下水DD/DFs同族体

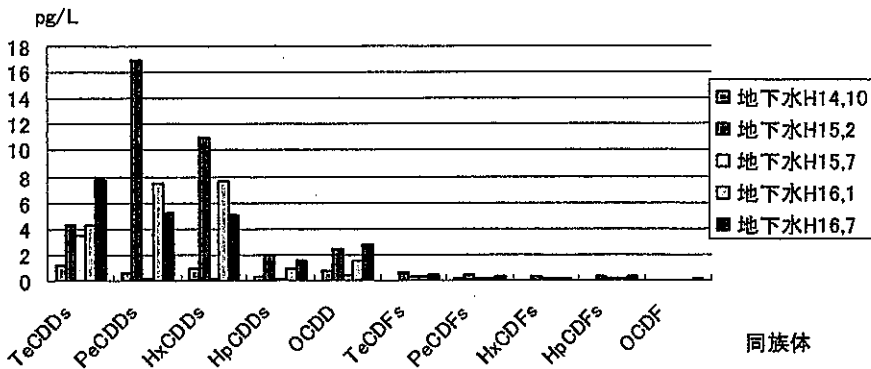


図4 地下水Co-PCB

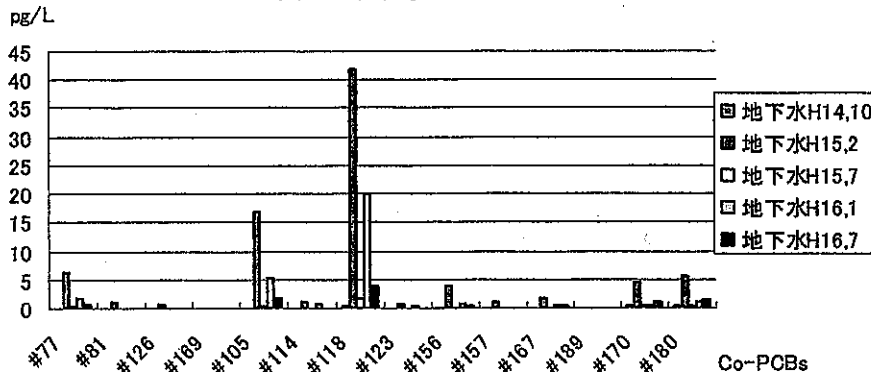


图5 放流水DD/DFs同族体

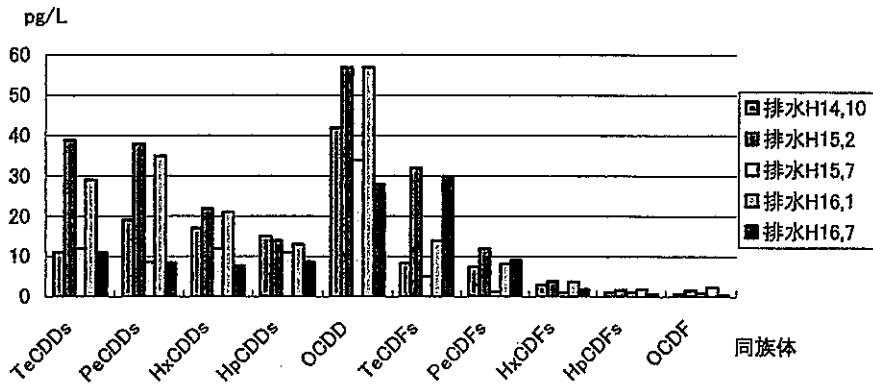


图6 放流水Co-PCBs

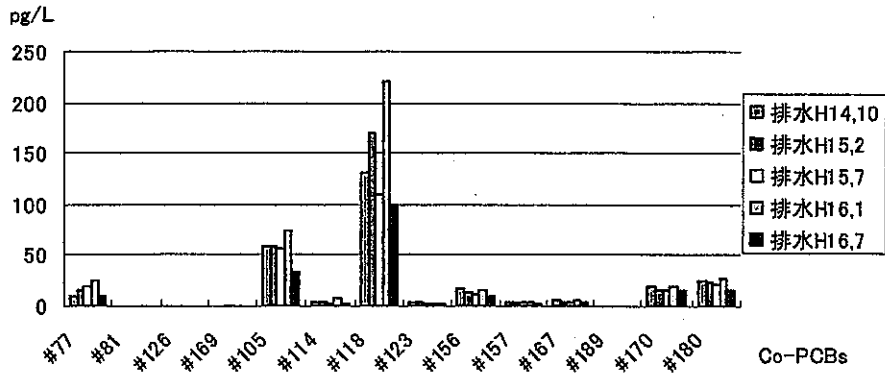


表1 竹ノ内処分場放流水中のダイオキシン類分析結果

試料名: 放流水			試料採取月日 平成16年7月29日					
ダイオキシン類			実測濃度(Cs)	定量下限	検出下限	毒性等価係数	毒性等量 TEQ①	毒性等量 TEQ②
			pg/L	pg/L	pg/L	WHO/IPCS(1997)	(pg-TEQ/L)	(pg-TEQ/L)
ダイオキシン類	ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	7.1	0.20	0.06	× 0	0	0
		1,3,7,9-TeCDD	3.2	0.20	0.06	× 0	0	0
		1,2,3,8-TeCDD	(0.10)	0.20	0.06	× 0	0	0
		2,3,7,8-TeCDD	N.D.	0.20	0.06	× 1	0	0.03
		TeCDDs	11				0	0.03
		1,2,3,6,8-PeCDD	1.3	0.20	0.06	× 0	0	0
		1,2,3,7,8-PeCDD	N.D.	0.20	0.06	× 1	0	0.03
		PeCDDs	8.4				0	0.03
		1,2,3,4,7,8-HxCDD	N.D.	0.4	0.1	× 0.1	0	0.005
		1,2,3,6,7,8-HxCDD	(0.2)	0.4	0.1	× 0.1	0	0.02
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	(0.2)	0.4	0.1	× 0.1	0	0.02	
	HxCDDs	7.7				0	0.045	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	2.9	0.4	0.1	× 0.01	0.029	0.029	
	HpCDDs	8.7				0.029	0.029	
	OCDD	28	1.0	0.4	× 0.0001	0.0028	0.0028	
	Total PCDDs	64				0.0318	0.1368	
	ジベンソフラン	2,4,6,8-TeCDF	4.1	0.20	0.06	× 0	0	0
		1,2,7,8-TeCDF	N.D.	0.20	0.06	× 0	0	0
		2,3,7,8-TeCDF	N.D.	0.20	0.06	× 0.1	0	0.003
		TeCDFs	30				0	0.003
1,2,4,6,8-PeCDF		1.8	0.20	0.06	× 0	0	0	
1,2,3,7,8-PeCDF		N.D.	0.20	0.06	× 0.05	0	0.0015	
2,3,4,7,8-PeCDF		N.D.	0.20	0.06	× 0.5	0	0.015	
PeCDFs		9.0				0	0.0165	
1,2,4,6,8,9-HxCDF		(0.2)	0.4	0.1	× 0	0	0	
1,2,3,4,7,8-HxCDF		N.D.	0.4	0.1	× 0.1	0	0.005	
1,2,3,6,7,8-HxCDF		N.D.	0.4	0.1	× 0.1	0	0.005	
1,2,3,7,8,9-HxCDF		N.D.	0.4	0.1	× 0.1	0	0.005	
2,3,4,6,7,8-HxCDF		N.D.	0.4	0.1	× 0.1	0	0.005	
HxCDFs		1.8				0	0.02	
1,2,3,4,6,8,9-HpCDF		(0.3)	0.4	0.1	× 0	0	0	
1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	(0.3)	0.4	0.1	× 0.01	0	0.003		
1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	N.D.	0.4	0.1	× 0.01	0	0.0005		
HpCDFs	0.7				0	0.0035		
OCDF	(0.4)	1.0	0.4	× 0.0001	0	0.00004		
Total PCDFs	42				0	0.04304		
Total DXNs	110					0.032	0.18	
コプラナPCBs	ノンオルト	3,3',4,4'-TeCB #77	9.7	0.20	0.06	× 0.0001	0.00097	0.00097
		3,4,4',5'-TeCB #81	(0.11)	0.20	0.06	× 0.0001	0	0.000011
		3,3',4,4',5'-PeCB #126	0.81	0.20	0.06	× 0.1	0.081	0.081
		3,3',4,4',5,5'-HxCB #169	N.D.	0.20	0.06	× 0.01	0	0.0003
	モノオルト	2,3,3',4,4'-PeCB #105	34	0.20	0.06	× 0.0001	0.0034	0.0034
		2,3,4,4',5'-PeCB #114	1.9	0.20	0.06	× 0.0005	0.00095	0.00095
		2,3',4,4',5'-PeCB #118	100	0.20	0.06	× 0.0001	0.01	0.01
		2',3,4,4',5'-PeCB #123	1.1	0.20	0.06	× 0.0001	0.00011	0.00011
		2,3,3',4,4',5'-HxCB #156	10	0.20	0.06	× 0.0005	0.005	0.005
		2,3,3',4,4',5'-HxCB #157	2.5	0.20	0.06	× 0.0005	0.00125	0.00125
		2,3',4,4',5,5'-HxCB #167	4.2	0.20	0.06	× 0.00001	0.000042	0.000042
		2,3,3',4,4',5,5'-HpCB #189	0.44	0.20	0.06	× 0.0001	0.000044	0.000044
ジオルト	2,2',3,3',4,4',5'-HpCB #170	16	0.20	0.06	—	0	0	
	2,2',3,4,4',5,5'-HpCB #180	16	0.20	0.06	—	0	0	
Total Co-PCBs	200					0.10	0.10	
Total DXNs & Co-PCBs	310					0.13	0.28	

備考 1. 括弧内の数値は検出下限以上定量下限未満の数値である
 2. 毒性等価係数は、WHO/IPCS(1997)のTEFを適用した。
 3. 毒性等量(TEQ)の算出
 毒性等量①については 定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出した。
 毒性等量②については 検出下限未満の実測濃度は検出下限の1/2値を用いて算出した。

表2 竹ノ内処分場地下水中のダイオキシン類分析結果

試料名: 地下水		試料採取月日					平成16年7月29日	
		実測濃度(Cs) pg/L	定量下限 pg/L	検出下限 pg/L	毒性等価係数 WHO/IPCS(1997)	毒性等量 TEQ ① (pg-TEQ/L)	毒性等量 TEQ ② (pg-TEQ/L)	
ダイオキシン類	ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	5.5	0.10	0.03	× 0	0	0
		1,3,7,9-TeCDD	2.0	0.10	0.03	× 0	0	0
		1,2,3,8-TeCDD	(0.08)	0.10	0.03	× 0	0	0
		2,3,7,8-TeCDD	N.D.	0.10	0.03	× 1	0	0.015
		TeCDDs	7.8				0	0.015
		1,2,3,6,8-PeCDD	1.0	0.10	0.03	× 0	0	0
		1,2,3,7,8-PeCDD	N.D.	0.10	0.03	× 1	0	0.015
		PeCDDs	5.2				0	0.015
		1,2,3,4,7,8-HxCDD	N.D.	0.20	0.06	× 0.1	0	0.003
		1,2,3,6,7,8-HxCDD	N.D.	0.20	0.06	× 0.1	0	0.003
		1,2,3,7,8,9-HxCDD	N.D.	0.20	0.06	× 0.1	0	0.003
		HxCDDs	5.0				0	0.009
		1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.40	0.20	0.06	× 0.01	0.004	0.004
		HpCDDs	1.6				0.004	0.004
	OCDD	2.7	0.5	0.2	× 0.0001	0.00027	0.00027	
	Total PCDDs	22				0.00427	0.04327	
	ジベンゾフラン	2,4,6,8-TeCDF	0.33	0.10	0.03	× 0	0	0
		1,2,7,8-TeCDF	N.D.	0.10	0.03	× 0	0	0
		2,3,7,8-TeCDF	N.D.	0.10	0.03	× 0.1	0	0.0015
		TeCDFs	0.48				0	0.0015
		1,2,4,6,8-PeCDF	(0.06)	0.10	0.03	× 0	0	0
		1,2,3,7,8-PeCDF	N.D.	0.10	0.03	× 0.05	0	0.00075
		2,3,4,7,8-PeCDF	N.D.	0.10	0.03	× 0.5	0	0.0075
		PeCDFs	0.33				0	0.00825
1,2,4,6,8,9-HxCDF		N.D.	0.20	0.06	× 0	0	0	
1,2,3,4,7,8-HxCDF		N.D.	0.20	0.06	× 0.1	0	0.003	
1,2,3,6,7,8-HxCDF		N.D.	0.20	0.06	× 0.1	0	0.003	
1,2,3,7,8,9-HxCDF		N.D.	0.20	0.06	× 0.1	0	0.003	
2,3,4,6,7,8-HxCDF		N.D.	0.20	0.06	× 0.1	0	0.003	
HxCDFs		(0.19)				0	0.012	
1,2,3,4,6,8,9-HpCDF	(0.09)	0.20	0.06	× 0	0	0		
1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	(0.18)	0.20	0.06	× 0.01	0	0.0018		
1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	N.D.	0.20	0.06	× 0.01	0	0.0003		
HpCDFs	0.27				0	0.0021		
OCDF	(0.2)	0.5	0.2	× 0.0001	0	0.00002		
Total PCDFs	1.5				0	0.023870		
Total DXNs		24				0.0043	0.067	
コプラナPCBs	ノンオルト	3,3',4,4'-TeCB #77	0.63	0.10	0.03	× 0.0001	0.000063	0.000063
		3,4,4',5'-TeCB #81	N.D.	0.10	0.03	× 0.0001	0	0.0000015
		3,3',4,4',5'-PeCB #126	(0.08)	0.10	0.03	× 0.1	0	0.008
		3,3',4,4',5,5'-HxCB #169	N.D.	0.10	0.03	× 0.01	0	0.00015
	モノオルト	2,3,3',4,4'-PeCB #105	1.7	0.10	0.03	× 0.0001	0.00017	0.00017
		2,3,4,4',5'-PeCB #114	0.12	0.10	0.03	× 0.0005	0.00006	0.00006
		2,3',4,4',5'-PeCB #118	3.9	0.10	0.03	× 0.0001	0.00039	0.00039
		2',3,4,4',5'-PeCB #123	(0.05)	0.10	0.03	× 0.0001	0	0.000005
		2,3,3',4,4',5'-HxCB #156	0.43	0.10	0.03	× 0.0005	0.000215	0.000215
		2,3,3',4,4',5'-HxCB #157	0.12	0.10	0.03	× 0.0005	0.00006	0.00006
		2,3',4,4',5,5'-HxCB #167	0.22	0.10	0.03	× 0.00001	0.0000022	0.0000022
		2,3,3',4,4',5,5'-HpCB #189	N.D.	0.10	0.03	× 0.0001	0	0.0000015
	ジオルト	2,2',3,3',4,4',5'-HpCB #170	0.97	0.10	0.03	—	0	0
		2,2',3,4,4',5,5'-HpCB #180	1.3	0.10	0.03	—	0	0
Total Co-PCBs		9.5				0.00096	0.0091	
Total DXNs & Co-PCBs		34				0.0052	0.076	

備考 1. 括弧内の数値は検出下限以上定量下限未満の数値である

2. 毒性等価係数は、WHO/IPCS(1997)のTEFを適用した。

3. 毒性等量(TEQ)の算出

毒性等量①については 定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出した。

毒性等量②については 検出下限未満の実測濃度は検出下限の1/2値を用いて算出した。